

物理工学談話会

ニュートリノ反応物理学

講師: 香取哲平 (Senior Lecturer, King's college London)

日時: 8月9日(金) 15時-16時

場所: 総合研究棟W202

現在、ニュートリノ物理学は、素粒子物理学の中で特に注目されています。標準模型 (the Standard Model, SM) にニュートリノの質量を足した”ニュートリノ標準模型 (the neutrino SM)” は、これまでに知られていない物理量の存在を指摘しており、それらをニュートリノ振動実験で測ることが現在、そして近未来の大規模素粒子実験の最大のテーマです。ニュートリノ反応物理学 (Neutrino interaction physics) はそのためのツールであり、これなしでは実験の成功もまたニュートリノ標準模型を超える新物理 (Beyond the neutrino SM) の発見ありません。この談話会では、ニュートリノ反応物理学の最先端、MeVからPeVエネルギー領域まで、加速器ニュートリノから高エネルギー天体ニュートリノまでのニュートリノ反応物理学の最新成果をレビューします。

世話人: 南野 (内線4182)

